

競技注意事項（姫路会場）

1 競技規則について

本記録会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会規定により行う。

2 ウォーミングアップについて

- (1) 練習は、サブトラック（競技場南の手柄山中央公園）を使用すること。
- (2) サブトラックでのフィールド競技の練習は投てき練習も含め禁止する。なお、フィールド競技の練習は、招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) サブトラックの使用上の注意は下記の通りとする。
 - ① レーンが少ないので、ウレタン舗装路でのジョグは行わないこと。
 - ② 周回は左回りとし、直線も含め逆走は禁止する。
 - ③ ハードル練習は西側（直線6レーン）の外側2レーンで行うこと。
 - ④ サブトラックへの移動は横断歩道を必ず渡ること。

3 招集について

- (1) 招集所は、第1ゲート入口付近に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。
その際、ナンバーカード・スパイクピンの長さ（走高跳・やり投 12mm 以下、その他 9mm 以下）の点検を受け、腰ナンバーを受け取る。
 - ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係に申し出ること。その場合のみ、代理人の点呼を認める。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。

4 競技について

- (1) トラック競技
 - ① スタートにおける不適切行為については、イエローカード2枚で当該種目のみを失格とする。
 - ② レーンは、プログラム記載番号順とする。
 - ③ 競技運営上フィニッシュ地点で、男子 1500m=6分、5000m=20分、3000mSC=13分、女子 1500m=7分、3000m=15分で残りの周回に入らず競技を打ち切る場合がある。
- (2) 腰ナンバー・別ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。
- (3) フィールド競技
 - ① 試技順は、プログラム記載番号順とする。
 - ② 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子走高跳	1組	練習 1.30 / 1.50	1.35・・・1.90 まで5cmずつ、以後3cmずつ
	2組	練習 1.65 / 1.80	1.70・・・1.90 まで5cmずつ、以後3cmずつ
女子走高跳	1組	練習 1.15 / 1.35	1.20・・・1.65 まで5cmずつ、以後3cmずつ
男子棒高跳		練習 2.00～4.50	2.20から10cmずつ
女子棒高跳		練習 1.80～3.80	2.00から10cmずつ

- ③ 三段跳の踏切板の位置は下記のとおりとする。

男子－ 9m・11m 女子－ 9m

5 競技用具について

- (1) やり・ポール以外は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。この場合共用となる。

検査開始時刻 第1日（13日）

 - ・女子－1組 8:50～9:00
 - ・男子－1組 10:50～11:00

検査場所 メインスタンド下玄関ロビー

- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の確認を受け自己のポールを使用する。

6 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1種目につき500円を添えて本部庶務係まで申し出ること。
- (2) ゴミは、各自で持ち帰るようにご協力ください。